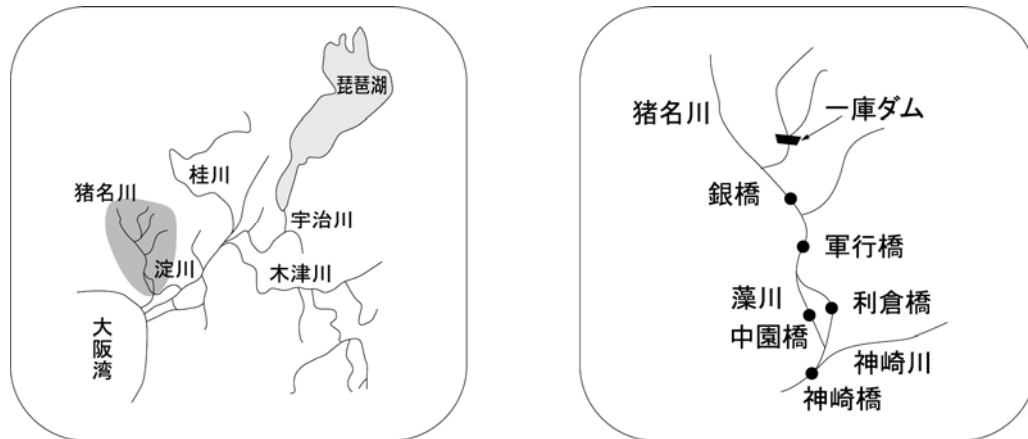


6. 猪名川

猪名川・神崎川は高度経済成長期に工業排水、生活排水などの流入により水質は極めて悪化した。が、兵庫地域公害防止計画に基づく下水道整備の推進などにより、近年その水質はかなり改善されており、上流地域では環境基準を達成している。しかし、下流地域では汚染度が高い状態である。

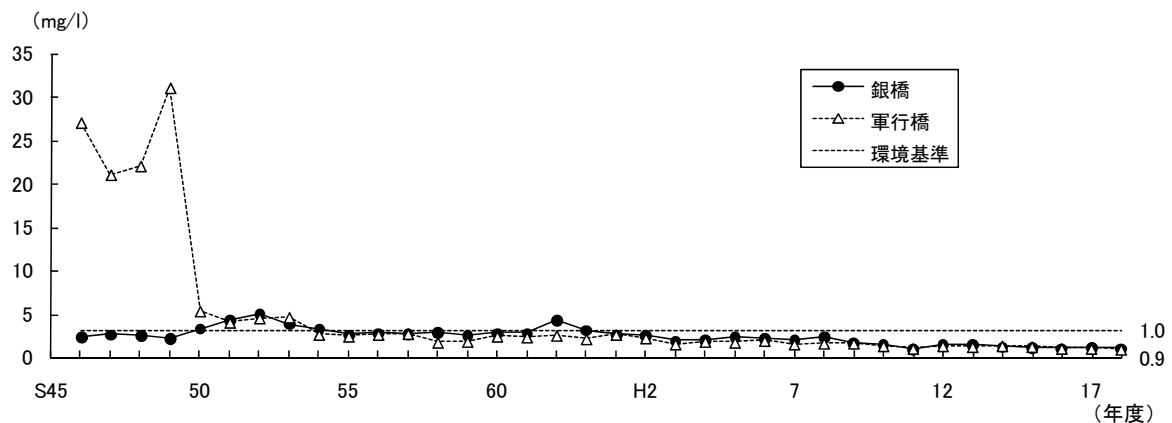


(1) 猪名川上流

猪名川上流の水質は高度経済成長期に極めて悪化した。が、昭和50年代になって急速に改善された。

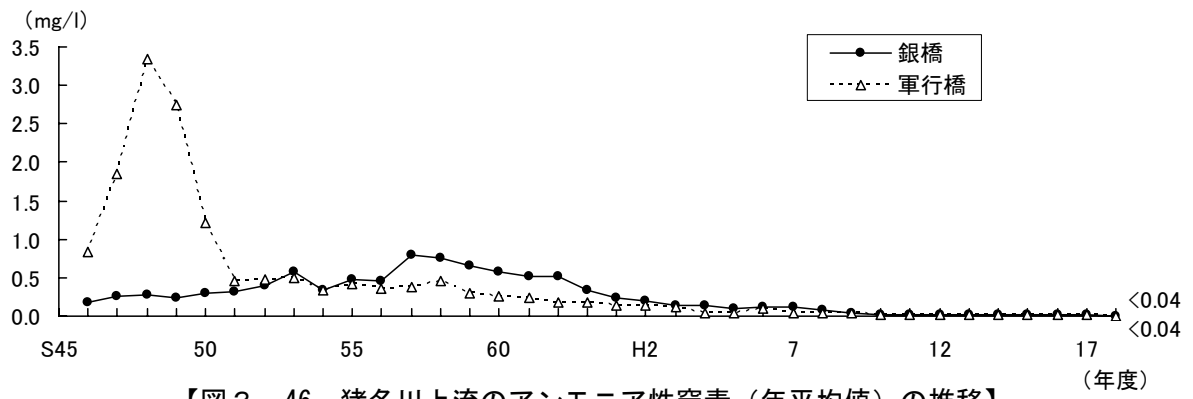
銀橋でのBOD（75%値）は昭和63年度以降徐々に改善されてきており、平成18年度は1.0mg/lとなった。軍行橋では、昭和49年度以降著しく改善され、平成18年度は0.9mg/lであった。両地点ともに環境基準値を下回っている。

アンモニア性窒素は、銀橋では昭和57年度に0.80mg/lを示したものの、その後は低下し、平成1年度は報告下限値（0.04mg/l）未満と大きく改善された。軍行橋では、昭和58年度の0.46mg/l以降著しく改善され、平成18年度には報告下限値（0.04mg/l）未満となった。



【図3-45 猪名川上流のBOD（75%値）の推移】

「大阪府公共用水域等水質調査結果（ホームページ）」より作成
 詳細は資料3-10を参照



【図3-46 猪名川上流のアンモニア性窒素（年平均値）の推移】

兵庫県「公共用水域の水質等測定結果報告書」より作成
 詳細は資料3-11を参照



【一庫ダム（猪名川）】

提供：水資源機構